



2020（令和2）年10月8日

一般社団法人 日本航空宇宙工業会

2021年 国際航空宇宙展の中止 および 国際航空宇宙展の2024年開催 について

2021年 国際航空宇宙展は、東京2020オリンピック・パラリンピック大会の1年延期により、利用予定の会場が使えなくなり本年5月に開催延期を決めました。その後も、新型コロナウイルスによる感染症が収束する様子がなくかつ国際的な人の移動制限の解除も不透明なままであることから、国際的な展示会の準備期間を考慮すると2022年に至っても開催できる状況にはないと展示会の実行委員会で判断されましたので、2021年 国際航空宇宙展は中止といたします。

次回（第16回）の国際航空宇宙展は、自衛隊創設70周年となる2024（令和6）年の秋に東京で開催といたします。展示会の日程、企画等の詳細は今後の検討としますが、関係の諸機関との今後の調整を通じ、日本で最大、アジアでも最大級の航空・宇宙・防衛に関する総合的な展示会として、業界発展に寄与し、技術の高度化や国民生活向上に資するべく、万全の準備を進めてまいります。

今後とも国際航空宇宙展へのご理解、ご協力をお願い申し上げます。

日本航空宇宙工業会(SJAC)について

SJACは1952年に設立され、航空宇宙機器の生産振興と貿易拡大を通じ、日本の航空宇宙工業の発展を図り、産業の高度化と国民生活の向上に寄与することを目的とした団体です。具体的には国内・海外において次のような活動を行っています。(1) 航空宇宙機器などに関する調査・研究、(2) 航空宇宙機器の規格・基準に関する調査研究、作成、普及、(3) 航空宇宙機器に関する資料・情報の収集・作成並びに提供・展示、(4) 航空宇宙機器に関する関係諸機関、団体との連絡・交流 など

国際航空宇宙展について

1966年に開催された「東京航空宇宙ショー」から、最近は4年おきに開催されている日本最大、アジアでも最大級の航空・宇宙・防衛に関する展示会で、航空・宇宙システムの売上高世界ランキング上位100社の1/3程度が集結し、最新製品や技術を披露しています。2016年の国際航空宇宙展では31の国と地域から812社の企業が展示し、約4万人の来訪がありました。日本の関係大臣、国会議員の方々など政府要人の参加や地方自治体の航空・宇宙クラスターの出展も盛んであり、さらに主催者による商談会のアレンジや最新話題の講演会も充実している。